

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 「IaaS」ガバメントクラウドサービス ご紹介資料

富士通株式会社

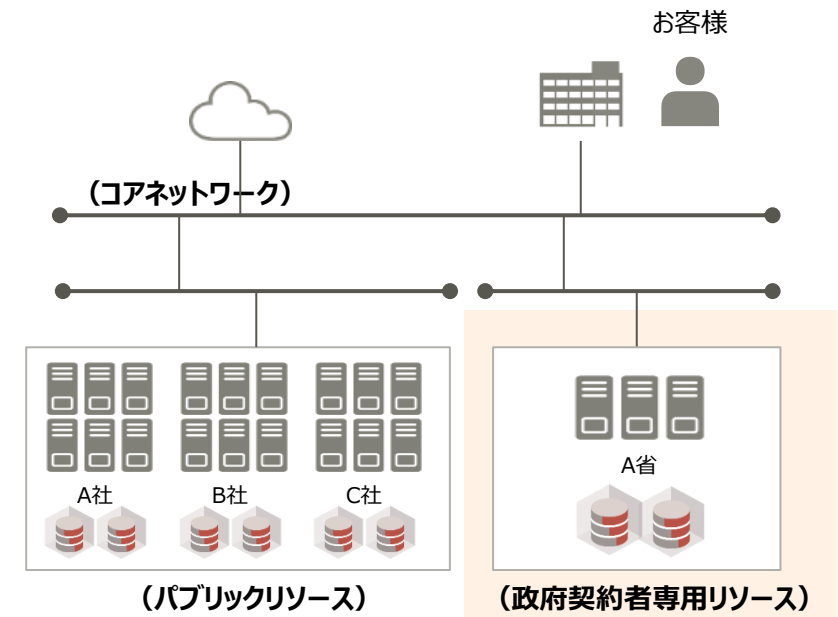
2025年1月



- 中央省庁および行政と関連性の高い機関（以下、政府等の機関）の申請に基づき政府情報システム(*1)として利用するリソースを提供します。

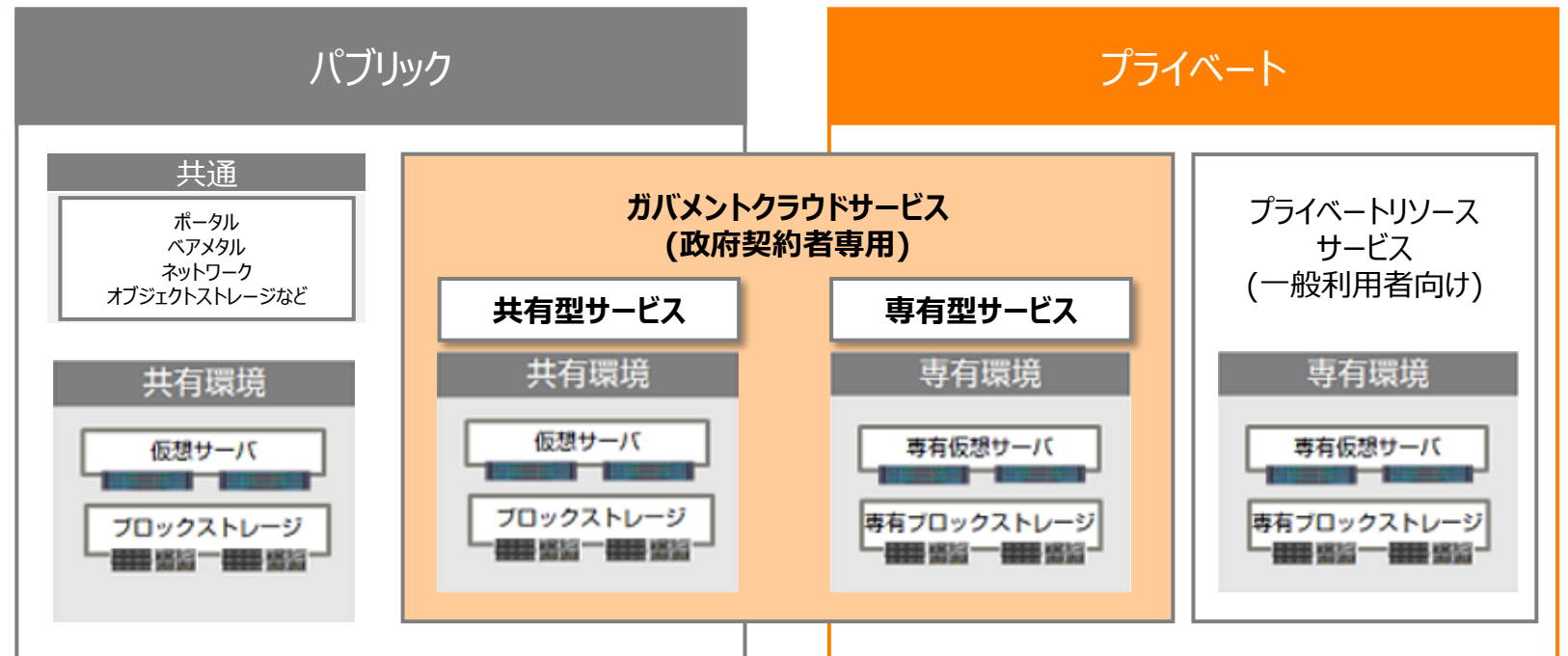
*1 政府情報システム: 政府等の機関がサービス・業務を実施するために用いる情報システム

- 政府機関向けに、お客様専用の物理サーバ、ストレージを提供しますので、民間の契約者とのリソースの共有が認められない要件においてもクラウドの活用が可能です。



サービス一覧

- 共有型サービス
複数の政府等の機関が専用ハード環境を専有
- 専有型サービス
単一の政府等の機関が専用ハード環境を専有



共有型サービス

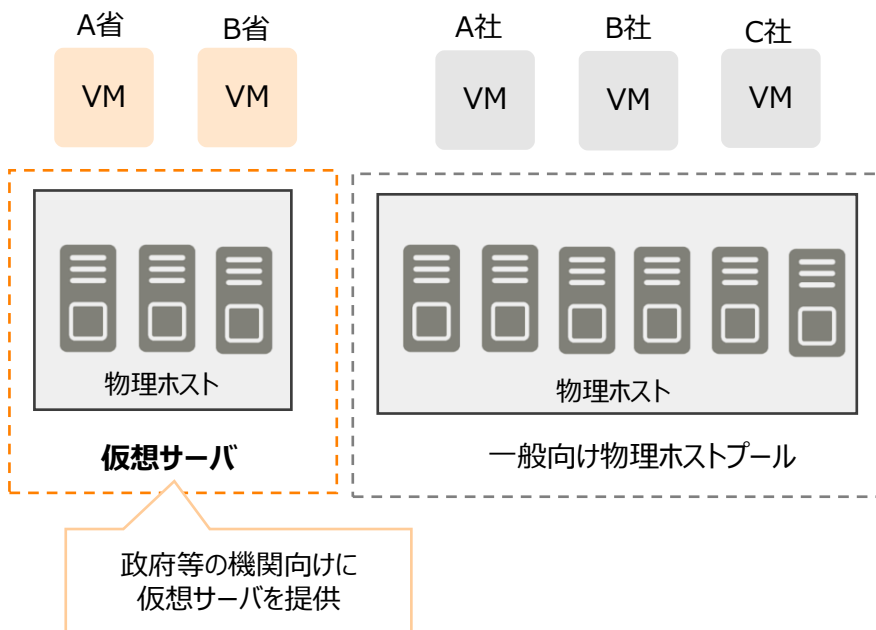
【共有型】商品ラインナップ

- 共有型サービスの商品ラインナップは次の通りです。

ガバメントクラウドにおけるOS提供サービスについては、パブリックと同じメニューが利用可能です。

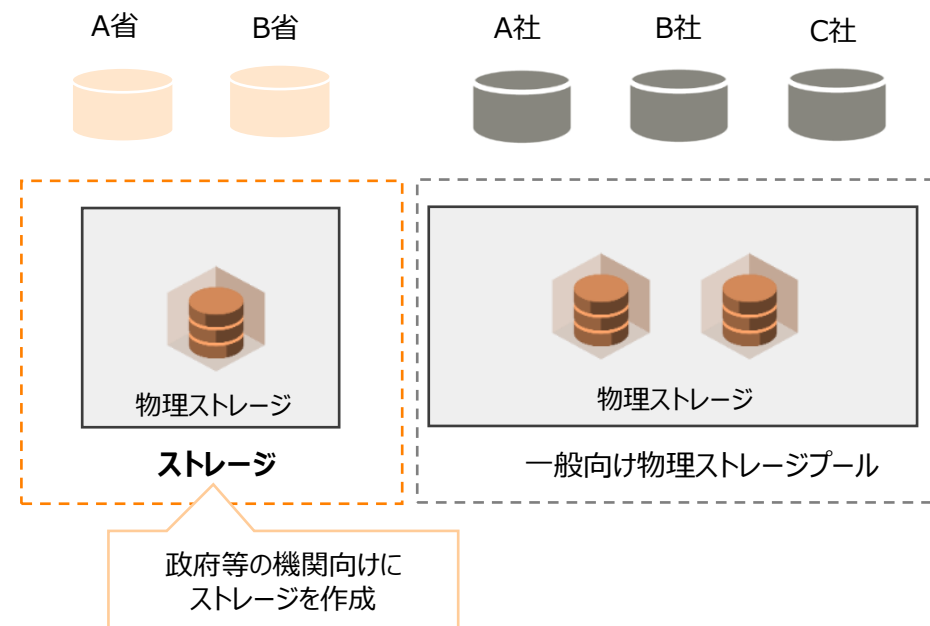
仮想サーバ

- 仮想サーバを配備する物理ホストを政府等の機関向けにご提供
- 仮想CPU性能の異なる2タイプをご用意
(スタンダードCPU・ハイスピードCPU)



ストレージ

- 仮想ストレージを配備する物理ストレージを政府等の機関向けにご提供

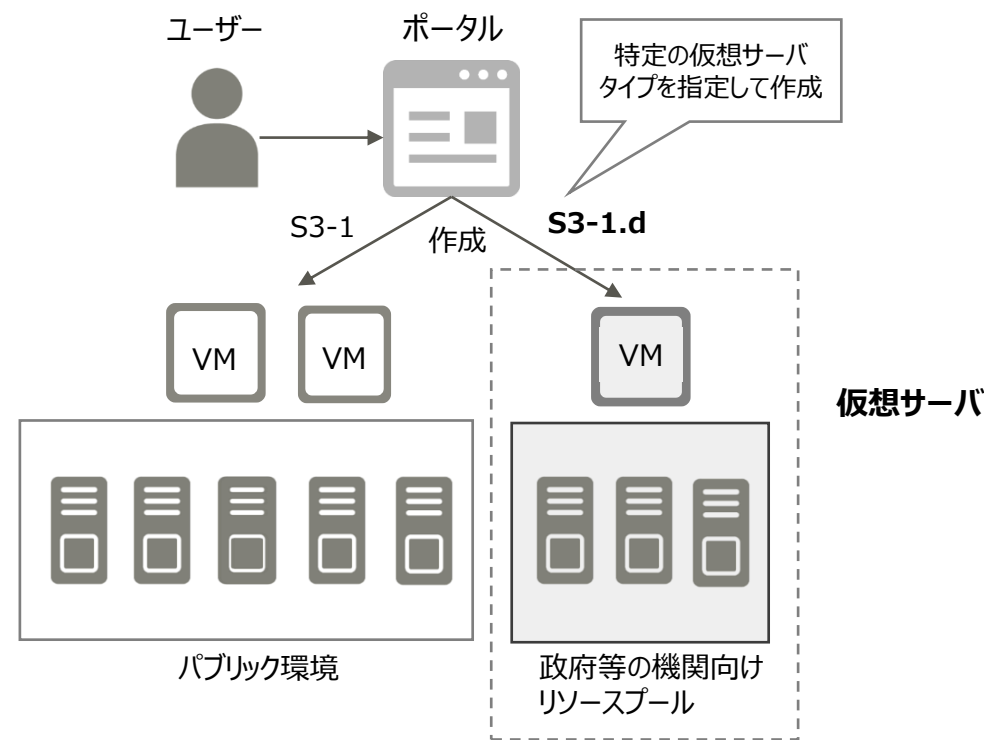


【共有型】 仮想サーバ

○ 政府等の機関向けの物理リソースプール上に仮想サーバを配備してご提供します。

○ 仕様

項目	内容
仮想サーバタイプ	仮想サーバのスタンダードCPUタイプもしくはハイスピードCPUタイプが利用できます。
仮想サーバ作成	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、政府等の機関向けのリソースプールに仮想サーバが配備されます。
仮想サーバ機能	パブリック同等の仮想サーバの機能がそのままご利用できます。
仮想アプライアンス	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、政府等の機関向けのリソースプールに仮想アプライアンスを配備することが可能です。 対象仮想アプライアンス： ・IPCOM VE2m



【共有型】仮想サーバ：スタンダードCPUタイプ メニュー

- 下記の仮想サーバスペックの仮想サーバを作成できます。
- 利用できる仮想サーバタイプは、末尾に「.d」のつく名称となります。

【例】

C3-4



C3-4.d

利用できる
仮想サーバタイプ

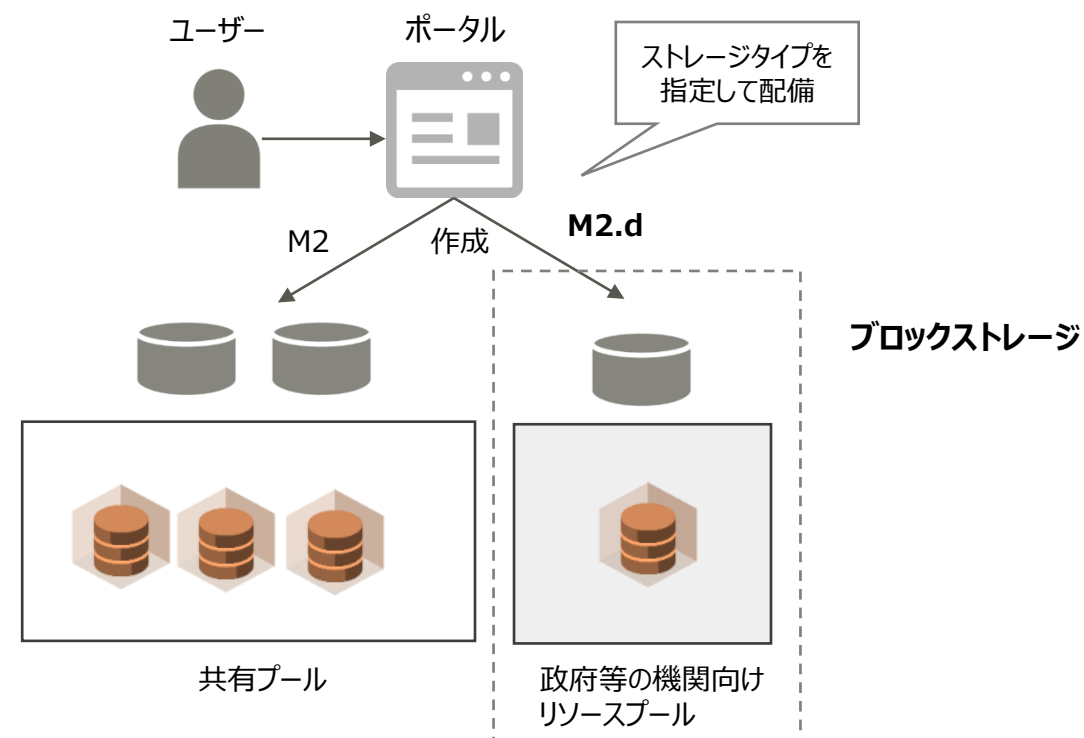
仮想サーバタイプ スタンダードCPU

16										C3-16				S3-16(S)	
14									C3-14S					S3-14S	
12								C3-12S					S3-12S		
10							C3-10S				S3-10S				
8						C3-8				S3-8(S)				M3-8(S)	
6					C3-6S			S3-6S					M3-6S		
4				C3-4		S3-4				M3-4					
2			C3-2	S3-2		M3-2									
1	P3-1	T3-1	C3-1	S3-1	M3-1										
	0.5	1	2	4	8	12	16	20	24	28	32	40	48	56	64
	メモリ容量[GB]														

- 政府等の機関向け物理リソースプール上にストレージを配備してご提供します。

- 仕様

項目	内容
ストレージタイプ	パブリックのブロックストレージM2タイプ相当を利用できます。
ボリュームの作成	政府情報システム向けのリソースプールにストレージが配備されます。
ストレージ機能	パブリック同等のブロックストレージ、スナップショット機能が利用できます。



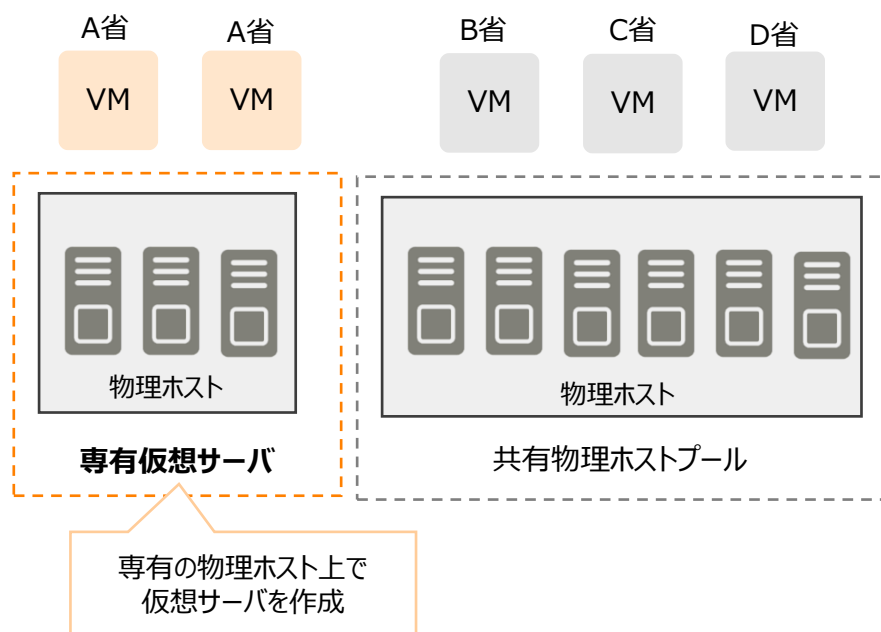
専有型サービス

【専有型】商品ラインナップ

- サーバ/ストレージ専有型プライベートリソースサービスの商品ラインナップは次の通りです。
OS提供サービスについては、パブリックと同じメニューが利用可能です。

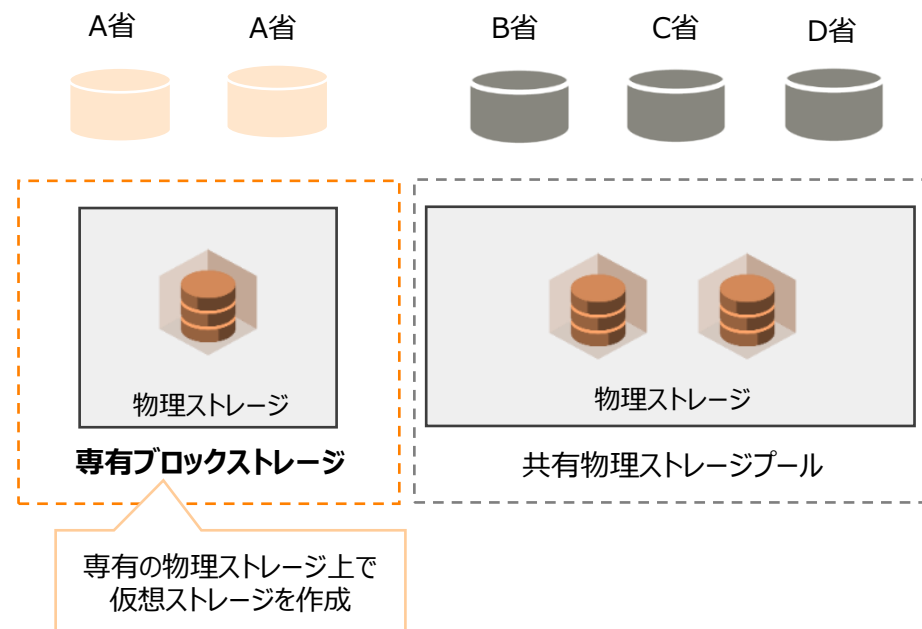
専有仮想サーバ

- 仮想サーバを配備する物理ホストをお客様専用でご提供



専有ブロックストレージ

- 仮想ストレージを配備する物理ストレージリソースプールをお客様専用でご提供



【専有型】 専有仮想サーバ

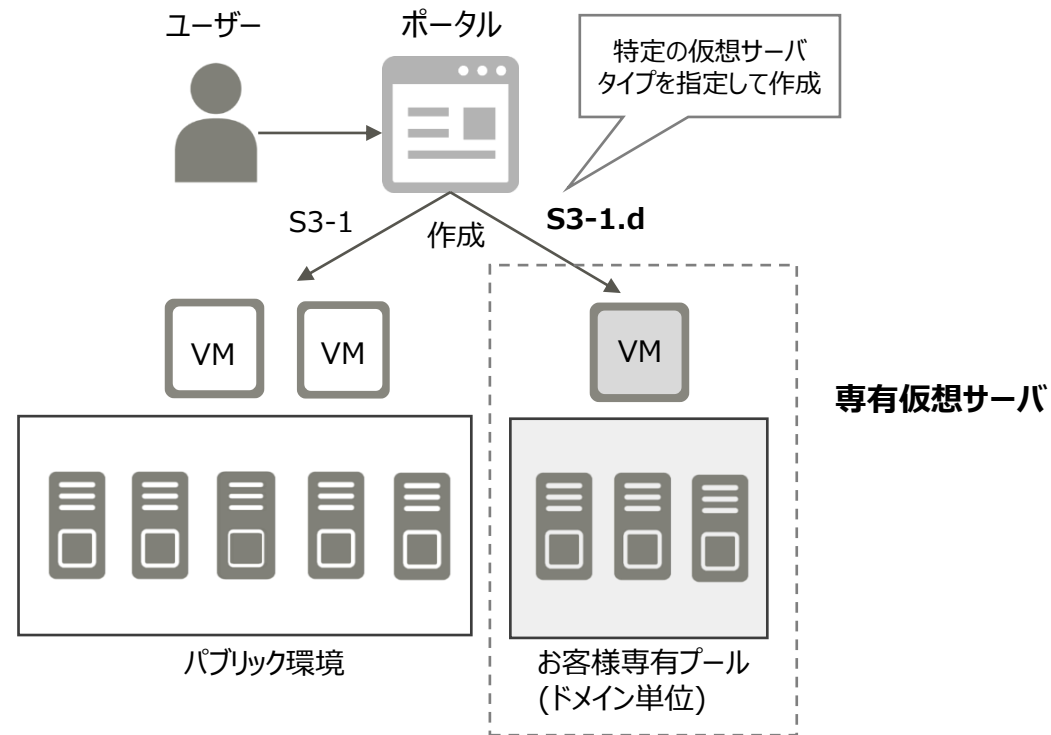
- 契約ドメイン単位で仮想サーバを配備する専用の物理リソースプールをご提供します。

- 仕様

項目	内容
仮想サーバタイプ	仮想サーバのハイスピードCPUタイプが利用できます。
仮想サーバ作成	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、お客様専用のプールに配備されます。
仮想サーバ機能	パブリック同等の仮想サーバの機能がそのままご利用できます。
仮想アプライアンス	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、お客様専用のプールに仮想アプライアンスを配備することが可能です。 対象仮想アプライアンス： ・IPCOM VE2m

- 注意事項

- 希望の専有仮想サーバリソースプールタイプや数量、お申込みのタイミングによってはすぐにご利用できない場合があります。事前にご相談ください。



【専有型】専有仮想サーバリソースプールタイプ[°]（詳細）

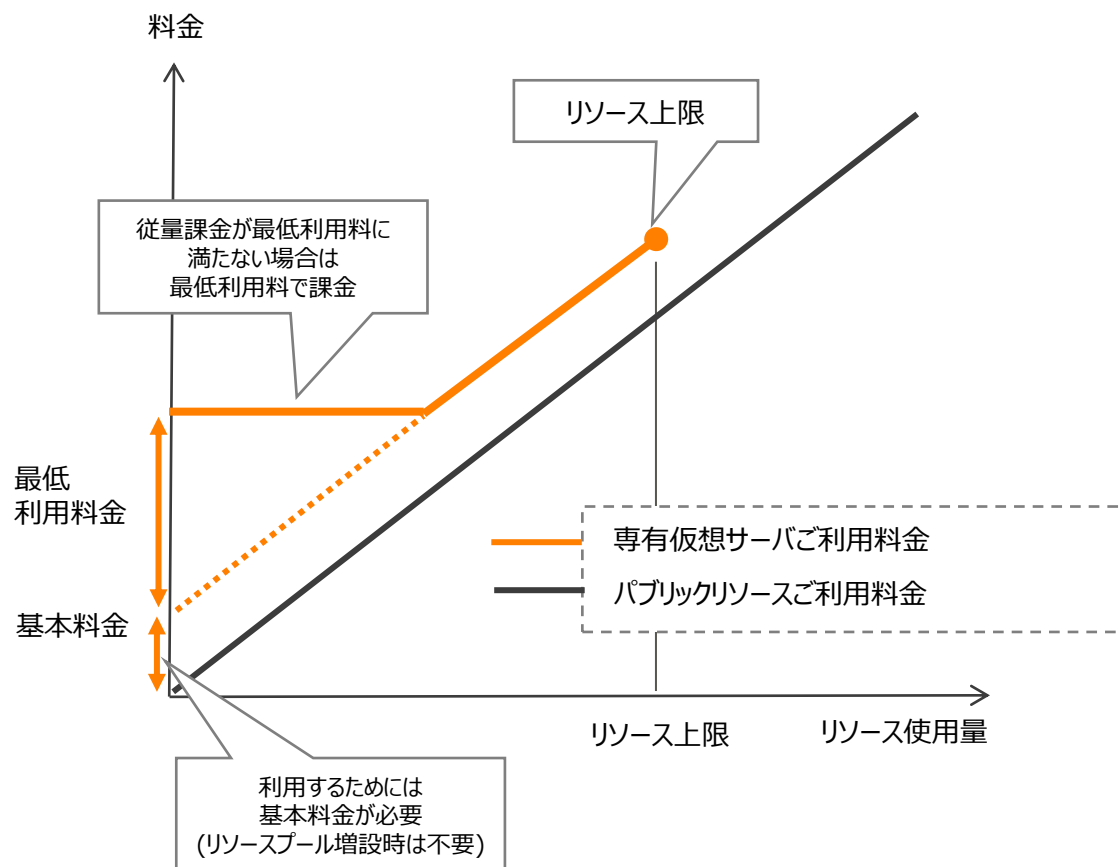


項目		ハイスピードCPUタイプ [°] (DH1)	ハイスピードCPUタイプ [°] (DH2)
仮想サーバリソース	利用可能仮想サーバタイプ	ハイスピードCPUタイプ (東3/西3) 相当 仮想CPUは、2.6GHz相当	ハイスピードCPUタイプ (東3/西3) 相当 仮想CPUは、2.6GHz相当
	提供単位	リソース	リソース
	1リソースあたりの物理サーバ数	5台 (故障時の予備機含まず)	3台 (故障時の予備機含まず)
	1リソースあたりの最大リソース(*1)	仮想CPU : 540 vCPU メモリ : 2,480 GB	仮想CPU : 576 vCPU メモリ : 2,958 GB
期間拘束	なし (一ヶ月単位)	なし (一ヶ月単位)	
提供方式	申請書による申し込み 納期 : 約1ヶ月 (在庫がある場合)	申請書による申し込み 納期 : 約1ヶ月 (在庫がある場合)	
提供リージョン	西日本3	東日本3	

*1 : 1リソース内の物理サーバの合算値(最大値)であり、ご利用によって配備される仮想サーバの組み合わせによっては最大数までご利用できない場合があります。

【専有型】専有仮想サーバ ご利用料金

- 専有仮想サーバのご利用料金は 基本料金 + 従量課金（最低利用料あり）で決定します。



項目	単位	内容
基本料金	リージョン・月	専有仮想リソースプールの利用料金。 基本料金は、リージョン単位でかつリソースプールタイプごとに必要です。
専有仮想サーバ	台数・時間	<p>専有仮想サーバの料金 専有仮想サーバのタイプごとの料金が設定されています。(*1) また、毎月の専有仮想サーバの料金が最低利用料金に満たない場合は、最低利用料金となります。</p> <p>最低利用料金 <ul style="list-style-type: none"> 各専有仮想サーバリソースプールごとに最低利用料金が設定されています。 専有仮想サーバリソースプールにリソースを追加した場合、最低利用料金は各商品の最低利用料金の合算値となります。 </p>

*1: パブリックの同一タイプと同じ料金です。

【専有型】専有仮想サーバ：ハイスピードCPUタイプ メニュー



- 下記の仮想サーバスペックの仮想サーバを作成できます。
- 専有仮想サーバで利用できる仮想サーバタイプは、末尾に「.d」のつく名称となります。

【例】

C4-4S



C4-4S.d

専有仮想サーバで利用できる
仮想サーバタイプ

仮想サーバタイプ ハイスピードCPU

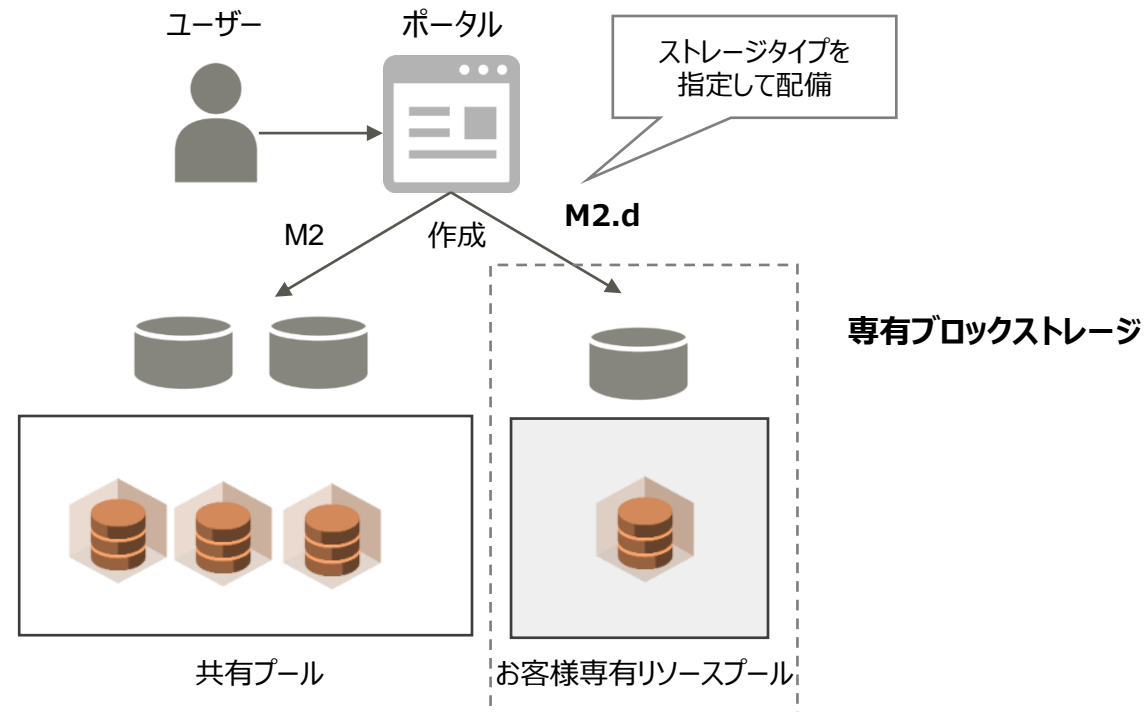
vCPU数	メモリ容量[GB]																											
	2	4	8	12	16	20	24	28	32	40	48	56	64	80	96	112	128	160	192	224	256	288	320	384				
32														C4-32S				S4-32S								M4-32S		
28													C4-28S				S4-28S									M4-28S		
24												C4-24S				S4-24S		L4-24S		M4-24S								LM4-24S
20												C4-20S				S4-20S				M4-20S								LM4-20S
16												C4-16S				S4-16S				M4-16S								LM4-16S
14												C4-14S				S4-14S				M4-14S								LM4-14S
12												C4-12S				S4-12S				M4-12S								XM4-12S
10												C4-10S				S4-10S				M4-10S								XM4-10S
8												C4-8S				S4-8S				M4-8S								DM4-8S
6												C4-6S				S4-6S				M4-6S								HM4-6S
4												C4-4S				S4-4S				M4-4S								DM4-4S
2												C4-2S				S4-2S				M4-2S								HM4-2S
1												C4-1S				S4-1S				M4-1S								HM4-1S

【専有型】 専有ブロックストレージ

- 契約ドメイン単位でブロックストレージを配備する専用の物理リソースプールをご提供します。

○ 仕様

項目	内容
ストレージタイプ	パブリックのブロックストレージM2タイプ相当を利用できます。
ボリュームの作成	専有ブロックストレージタイプを利用することによりお客様専用のプールに配備されます。
ストレージ機能	パブリック同等のブロックストレージ、スナップショット機能が利用できます。



○ 注意事項

- ご希望の数量、お申込みのタイミングによってはすぐにご利用できない場合があります。事前にご相談ください。

【専有型】 専有ブロックストレージリソースプールタイプ（詳細）

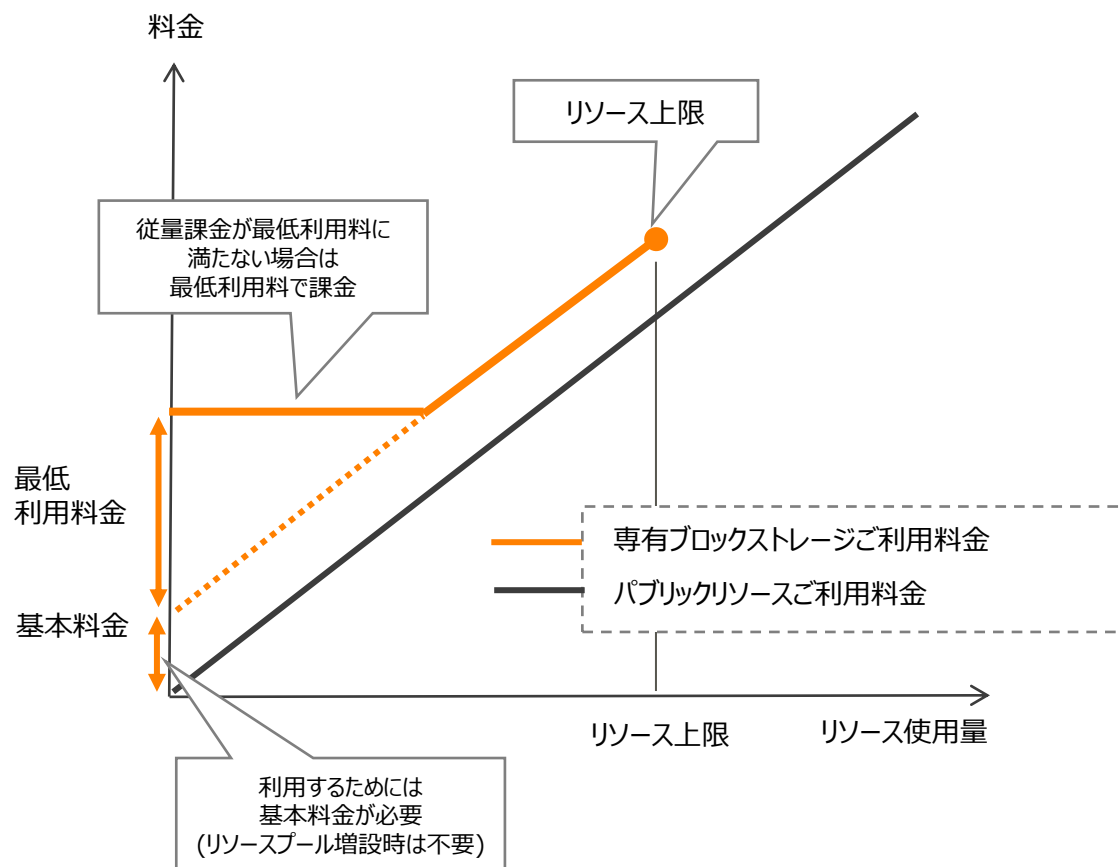
項目		専有ブロックストレージリソース(DBS1)
ブロックストレージリソースプール	利用可能ブロックストレージタイプ	専有ブロックストレージ タイプ (M2.d タイプ)
	ボリュームサイズ	1GB～16TB(1GB単位指定)
	提供単位	リソースプール
	1リソースあたりの最大ストレージ容量(*1)	225TB (スナップショット含む)
	1リソースあたりの最大IOPS(参考*2)	1,000,000IOPS
可用性	パブリックと同等	
拡張性	複数リソース購入によるリソースプール拡張	
期間拘束	なし（一ヶ月単位）	
提供方式	申請書による申し込み 納期：約1ヶ月（在庫がある場合）	
提供リージョン	東日本リージョン3、西日本リージョン3	

*1: ストレージ容量は論理値であり、最大値を保障するものではありません。

*2: 専有ブロックストレージで作成したディスクあたりの最大性能ではありません。IOPSはblock size: 4K, Read/Write 比率8:2の場合となります。

【専有型】 専有ブロックストレージ ご利用料金

- 専有ブロックストレージのご利用料金は 基本料金 + 従量課金（最低利用料あり）で決定します。

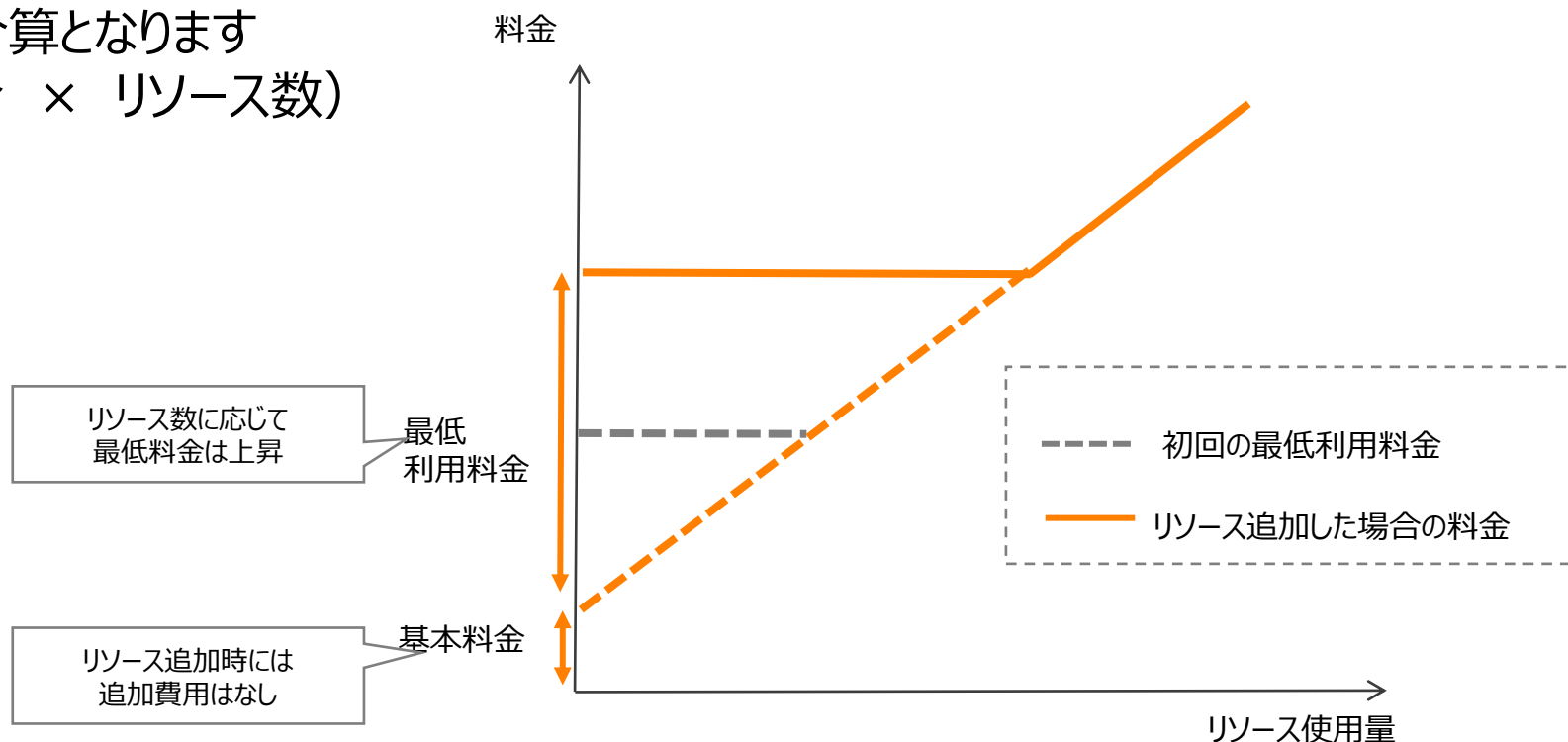


項目	単位	内容
基本料金	リージョン・月	専有ブロックストレージリソースプールの利用料金。基本料金は、リージョン単位で必要です。
専有ブロックストレージ スナップショット	GB・時間	<p>専有ブロックストレージおよびスナップショットの料金</p> <p>毎月の専有ブロックストレージおよびスナップショットの料金が最低利用料金に満たない場合は、最低利用料金となります。(*1)</p> <p>最低利用料金</p> <ul style="list-style-type: none"> 各専有ブロックストレージリソースの商品ごとに最低利用料金が設定されています。 専有ブロックストレージリソースプールにリソース追加した場合、最低利用料金は各商品の最低利用料金の合算値となります。

*1: 共有環境の同一タイプと同じ料金です。

【専有型】料金補足：リソース追加時

- 専有仮想サーバと専有ブロックストレージの補足です。
- 同一リージョン内でリソースプールを追加した場合、料金は以下になります。
 - 基本料金：新たに発生しません
 - 最低利用料金：商品数の合算となります
(各リソースの最低利用料金 × リソース数)



プライベートリソースモニタリング

- 仮想サーバ問題発生時のお客様による問題切り分けや、問題発生時の未然防止を支援します。仮想サーバと物理ホストの関係、物理ホストの状態、キャパシティといった物理環境情報を取得することができます。
- 本機能による追加料金はありません。

プライベートリソースモニタリング一覧

	区分	サービス	提供機能	提供情報	機能説明	利用用途例
1	問題の切分	専有 仮想サーバ	仮想サーバが稼働した物理ホスト変更履歴情報	仮想サーバID、仮想サーバ名、変更履歴(日時、物理ホスト名)	仮想サーバの稼働している物理ホストが変更された日時をお客様自身で確認することができます。	機器障害における仮想サーバのトラブル調査において、物理ホストの障害との関連を調査できます。
2			物理ホスト上の仮想サーバ一覧情報	物理ホスト名、プロジェクトID、仮想サーバID、仮想サーバ名、フレーバー	物理ホスト上に配備されている仮想サーバを一覧化することができます。	冗長化構成の仮想サーバが同じ物理ホスト上に配備していないことをお客様自身で確認することができます。
3			物理ホストの稼働状態	物理ホスト名、状態(稼働/停止)	物理ホストの物理ホスト名、稼働状態(稼働/停止)を確認することができます。	問題発生時に物理ホストの状態をお客様自身で確認することができます。
4	問題発生時の未然防止	専有 ブロックストレージ	物理ホストのキャパシティ情報	物理ホスト名、vCPU数(利用/空き)、メモリ(利用/空き)	お客様自身でキャパシティ情報を確認することができます。	キャパシティ不足を未然に回避し、増設計画を立てることを容易にすることができます。
5			物理ストレージのキャパシティ情報	ストレージサイズ(利用/空き)、ボリューム数	お客様自身でキャパシティ情報を確認することができます。	キャパシティ不足を未然に回避し、増設計画を立てることを容易にすることができます。

ガバメントクラウド契約者向け情報開示

- 当社は、政府等の機関の要求に基づき、当社との合意の範囲において本サービスのリソースに関する情報を開示します。
- 本情報開示にて提供される情報は当社秘密情報であり、サービス規約にて要求される守秘義務への順守が必要となります。
- ガバメントクラウド未契約者は利用することはできません。

Thank you

